

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300752
事業所名	グループホーム悠遊荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナの5類感染症移行後は、積極的に取り組む意識が高い。日課の散歩はもちろんのこと、ホームへの外部からの立ち入りを解除し、中学生や看護学生の実習の受け入れを再開する等、できることを模索しながら取り組みを再開している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナの感染状況を確認しながら、できる限り対面での会議開催に努めている。この1年は6回全てが対面での開催となっている。毎回10名前後のにぎやかな会議で、地域の情報収集、ホーム運営にかかわる意見交換の場として活用している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	行政担当部署とは、ホーム運営にかかわる報告や相談を通じて、適切に連携している。運営推進会議への参加もある。 地域包括支援センターとは、運営推進会議参加のほか、ホームの空き情報や地域高齢者情報の共有を図り、高齢者相談から利用者紹介につながる連携もある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナの5類感染症移行後は、ホームのコロナ対応・対策も、できることから緩和を図り、利用者と家族の意向に沿う形で、満足度も上々である。面会時や電話連絡時等に直接意向を聞き取り、運営や支援内容に反映させるように取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

この1年は、運営推進会議6回全てを対面で開催している。
-----------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							